

令和6年度 社会福祉法人くすの木福祉事業会 事業報告

評議員会・理事会開催状況

開催年月日	参加者数（監事含）/議案数		審議内容
	評議員会	理事会	
令和6年5月22日		8名 5件	・令和5年度事業報告について ・令和5年度社会福祉事業区分会計決算の認定について ・理事候補者の選任について ・役員等報酬規程の一部改正について ・定時評議員会の開催について
令和6年6月12日	6名 3件		・理事の選任について ・役員等報酬規程の一部改正について ・令和5年度社会福祉事業区分会計決算の承認について
		8名 1件	・理事長および常務理事の選定について
令和6年11月1日		8名 4件	・職員就業規則の一部改正について ・継続雇用職員就業規則の制定について ・職員給与規定の一部改正について ・令和6年度社会福祉事業区分会計補正予算について
令和7年3月21日		6名 7件	・第三者委員の選任について ・職員給与規定の一部改正について ・育児・介護休業等に関する規則の一部改正について ・役員賠償責任保険契約の更改について ・令和7年度社会福祉法人くすの木福祉事業会事業計画について ・令和7年度社会福祉事業区分会計予算について ・令和6年度社会福祉事業区分会計補正予算について

その他の実施状況

●職員研修

- ・虐待防止・身体拘束適正化研修

義務化された虐待防止・身体拘束適正化内容把握と取り組みについて：田原授産所 鎌田博幸氏

アンガーマネジメント・アンコンシャスバイアスセミナー：田原授産所 鎌田博幸氏

A B C分析：たくと大府 林大輔氏

- ・A E D及び心肺蘇生法・口腔内異物除去講習：日赤愛知支部 村崎正明指導員

- ・感染症対策研修会 基本的な感染症対策 ガウン着用法：保健センター 戸澤真由美氏

●諸規程検討

- ・法人諸規程検討及び労務相談（月1回開催 大山社会保険労務士来寮）

●法人感染症対策委員会 随時実施

●法人災害対策委員会

- ・災害対策本部及び福祉避難所設置訓練の実施 蒲郡市と連携し福祉避難所受入訓練実施

●地域公益取組推進委員会

- ・地域座談会への参加

- ・児童クラブへのおやつ提供の実施（毎月）・パフォーマー招待による交流会（1回）

●法人職員採用試験実施（20回）

令和 6 年度 障害者支援施設つつじ寮事業報告

1. 職員構成

総数 50名 ()は非常勤再掲

施設長 1	事務員 3(1)	サビ管 1	生活支援員 35(16)
看護師 2(1)	栄養士 1	調理員 7(7)	嘱託医 1(1)

2. 利用者の状況

定員 50名

●療育手帳判定

	A判定	B判定	C判定	計
男	23	1	0	24
女	16	5	0	21
計	39	6	0	45

●障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	計
男	0	0	0	2	10	12	24
女	0	0	0	3	5	13	21
計	0	0	0	5	15	25	45

●在籍および入退所状況

施設入所者 令和7年3月31日現在45名

3. 支援状況

高齢・重度化に伴い、利用者1.7人に対して1人の職員を配置して、利用者支援の充実を図るとともに、職員の研修などを通し、スキルアップに取り組んだ。

また、利用者の特性を認識するため、毎月利用者をピックアップし、支援内容の見直しを進めた。

日中活動支援は、個々人の適性・能力、年齢に合わせ、生産活動を行う「下請

け作業班」と身体機能維持活動などを行う「ひまわり班」の2班で活動を実施した。

それぞれの利用者の想い（ニーズ）に寄り添い、本人が楽しみながら、生きがいのある生活が送れるよう個別支援計画を立て、目標が達成できるように次の支援を行った。

(1) 生活支援

生活面では、食事・排泄・入浴等、日常生活に必要不可欠な支援について個別の支援ガイドを作成し、利用者本人の状態状況に合わせた支援を行った。

(2) 日中活動支援

<下請け作業班> 班員 21 名（男性 13 名・女性 8 名）

◇年間目標

1. 作業（生産）活動を通し、利用者が各自の作業工程に責任をもって取り組み、「働くこと」＝「生きがいや楽しみ」に繋げる。
2. 給料を使用し、飲食などの機会を設け、作業意欲の向上を目指す。
3. 利用者の身体機能の低下、高齢化対策として体力活動を取り入れ、身体機能維持に努める。

◇支援状況及び報告

どの企業からの受注も不安定で、且つ減少している。実績もそれに伴い、減少傾向である。

10月より新規企業の受注が開始している。

作業に関しては、個々の利用者の適正に応じた工夫を行い、どの利用者也作業に参加できるよう努めた。

作業を頑張ったことで、利用者も給料を受け取ることを楽しみにしている。

今年度も引き続き、職員が購入したお菓子をみんなで飲食するなど、息抜きの日を設け、作業意欲の向上に努めた。

作業が少ない日は、利用者と一緒に施設の周りやドライブ先での散歩などを行い、体力の維持ができるよう努めた。

◇作業実績

<年度別の実績>

令和5年度 201,896円
令和6年度 195,828円

<今年度の各社実績>

・Fバーナー社 57,492円
・K明寺 50,000円
・W大塚 76,560円
・S商事 11,776円

◇今後に向けて

令和6年度は、前年比実績は減少している。どの企業も安定的な受注はなく、ばらつきが見られている。

Fバーナー社は、業務用製品の生産が減少傾向の様子。前年に比べ、受注は比較的安定傾向だった。

W大塚の作業は、引き続き受注できることが見込まれている。

10月よりS商事の軽作業が受注開始となる。安定的な受注ではないため、長期的に受注が頂けるよう丁寧な作業を行う。

今後も引き続き、実績を維持できるように努力していく。また、利用者の高齢化に伴い、体力維持、身体機能の維持にも努めていく。

<ひまわり班> 班員 26 名（男性 11 名 女性 15 名）

◇年間目標

令和5年度より2つのグループを編成し、「利用者一人ひとりのニーズに合わせ、運動を通して笑顔で楽しく過ごせるように」をモットーに活動をした。

・C a r e（ケア）グループ（男性5名 女性7名）

健康維持を目的とし、高齢・重度の利用者を中心に機器を使用した運動を取り入れ、健康維持を目的として活動する。

・A c t i v e（アクティブ）グループ（男性6名 女性8名）

体力増進を目的とし、運動、散歩などを意識した活動を目指す。

① 「心身機能の向上」と「病気・老年症候群の予防」

運動療法を通じて高齢化が進む利用者の身体の強化・リフレッシュ・認知機能の向上を図り、同時に自信と安定を図ることで、生活の楽しみとしての運動を習慣づける。車椅子利用者の活動の充実を図る。

② 「身体機能の維持」

各利用者に合った個別運動プログラムの立案、実施。散歩の充実。

◇支援状況及び報告

円滑な活動ができるように、また利用者一人ひとりのニーズに寄り添い、利用者の適性に沿った支援を行った。

また、グループの垣根を越えて柔軟に活動を進め、歩行速度に合わせた散歩のグループ分けや、利用者の能力に合ったコース選択、外出先での散歩（マイクロバス利用）、寮内や運動場歩行、サーキット運動等を行った。

その日の活動を仕切る職員のリーダーを2名決めて活動内容の偏りを防ぎ、正職員/非常勤職員共に協力し支援を進めた。

今年度は、療育支援事業の一環として理学療法士の講師を招き、利用者に合ったストレッチ運動の提案をして頂き実践した。

身体機能維持/体力維持を目標に散歩を中心に実施し、年間を通して体を動かすことができた。また、個別活動にも再度着目して進めた。

◇今後に向けて

来年度も引き続き、体力向上や身体機能の維持を中心とした活動を実施する。近年は、利用者の高齢化、重度化が進んでいる。今後、より一層の身体機能維持を目指さなくてはならない。その為の器具を充実し利用者一人ひとりに合った運動を取入れていく。

(3) 自立支援

1) 生活支援…金銭感覚取得、身の自立

本来であれば、外出する中でマナーを学び、各自のスキルアップへの取り組みを積極的に実施したかったが、新型コロナウイルスなどの感染予防の為、実施回数は例年よりも少ない結果となった。

買い物や洗濯など個々に合わせた個別支援計画を作成し、生活する上で自立に必要な支援を行った。

2) 地域生活、就労に向けた支援…グループホーム入居希望者1名

地域生活を目指すための個別的な支援を進めた。

(4) 余暇活動

生活に潤いを持たせ、ストレスの解消を図るため、休日や平日の自由時間を有意義に過ごせるようにした。具体例として夕食後の余暇活動で、塗り絵、カラオケなどを実施した。

また、休日の午前に「コーヒータイム」を設け、お菓子とコーヒーを提供している。

(5) T A P 活動

セラピー活動（音楽療法・読み聞かせ）、アート活動（絵画教室・木工・教室・生け花教室）を毎月実施した。但し、コロナ禍で中止の期間もあった（読み聞かせ・木工教室については隔月実施）。

読み聞かせについては蒲郡のボランティア団体により、毎回とても和やかな雰囲気の中進められた。

絵画教室は講師の丁寧な指導により 1 つの作品に時間をかけて取り組む利用者や、個々の特性を生かした絵を描き完成させている。完成した作品は絵画展等に出品している。

どの活動も利用者の希望を尊重し、毎回意欲的に参加している。

今後も活動を継続し、利用者の生活に潤いを持たせる。

4. 健康管理

年 2 回保健・給食委員会を開き、それぞれの課題解決や充実を図ると共に健康維持に努めた。新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症移行となったが、感染症対策委員会を計 2 回開催し、感染防止対策を行った。

(1) 定期健康診断(5/13、10/7)

聴打診、血圧測定、尿検査、血液検査、検便、胸部レントゲン（春）、腹囲測定（春）、心電図（秋）、大腸がん検査（秋）

(2) 乳ガン検診（7・9月） 子宮ガン検診（11月）

(3) 通院状況

定期通院については、内科、歯科、眼科、外科、整形外科、耳鼻科、皮膚科、泌尿器科、精神科、婦人科の通院を行った。また、歯科については蒲郡市障がい者歯科診療所の通院を行った。また季節的に、水虫、感冒、花粉症による通院を行った。

(4) 入院状況（延人数）

15日未満	内科2名	皮膚科1名	
15日以上1ヶ月未満	内科2名	皮膚科1名	婦人科2名
1か月以上	婦人科1名	整形外科	1名

(5) 寮内処置状況

(感染症対策) 新型コロナウイルス感染症が 5 類移行したが、引き続き感染対策として、手洗い、うがい、換気、体力作り、外出時のマスク着用などを行った。

毎日の体温測定（冬時期 1 日 2 回測定）を行い、利用者、職員で罹患者が出た場合は、1 日 3 回の腋窩検温を行い、体調不良者の早期発見に努めた。

インフルエンザワクチン接種は 1 1 月実施。新型コロナウイルスワクチン接種は家族の希望がなく未接種。

1 2 月に職員 1 名が新型コロナウイルスに罹患したが、利用者の罹患者はいなかった。1 月に利用者 1 0 名、職員 4 名がインフルエンザに罹患したが、大事には至らなかった。3 月に職員 1 名がインフルエンザに罹患したが、利用者の罹患者はいなかった。

（水 虫 対 策） 皮膚科に通院し、処方された外用薬を塗る治療を行った。また常に足を清潔にするように支援を行った。

（怪我の処置） 擦り傷、切り傷、軽い外傷。

（6）その他

- 1. 嘱託医（内科・泌尿器科）医療相談（毎月 1 回実施）
- 2. 体重・血圧検査（毎月 1 回実施） 身長測定（年 1 回実施）
- 3. 耳垢・爪の検査 随 時
- 4. A E D 及び心肺蘇生講習会（9/17・3/14）

5．食 事

必要な栄養素・栄養バランスの摂れた献立を作成し、旬の食材を多く使用した食事を提供した。嗜好調査や、毎月の集会でリクエストの聞き取りを行い、献立に取り入れた。毎週木曜日には主菜を 2 種類用意する選択メニューを実施し、選択する自由を尊重した。また季節の行事に合わせた食事を提供し、食事をより楽しんでもらえるように努めた。

健康管理上の配慮が必要な方は、栄養士、調理員、看護師、支援員が協議して、以下の様に対応した。

- ・肥満者・・・肥満食、極肥満食、主食のみ肥満食
- ・低体重者・・・主菜、副菜 1.5 倍食、主食 2 0 0 g
- ・咀嚼能力の低い者・・・きざみ食
- ・嚥下能力の低い者・・・とろみ付け、ミキサー食

また、個々人の身体状況や、食事の形態に合わせて専用の食器等を用意した。

◎令和 6 年度平均給与栄養量

種 類	エネルギー Kcal	蛋白質 グラム	脂 質 グラム	糖 質 グラム	ミネラル		ビ タ ミ ン			
					カルシウム mg	鉄 mg	A IU	B1 mg	B2 mg	C mg
摂取量	1,664	78.9	47.0	226.6	417	8.0	2,333	1.07	0.98	93

6. 行 事

今年度から毎月、全体集会にて対象者の誕生日を実施しています。

- | | |
|--------|-------------------------------|
| 4月19日 | お楽しみの日「美味しいデザートを食べよう」 |
| 5月17日 | お楽しみの日「ドーナツショップ」 |
| 6月21日 | お楽しみの日「31のアイスを食べて涼しくなろう」 |
| 6月23日 | ふれあい旅行（日帰り） |
| 7月19日 | お楽しみの日「スイカ割り」 |
| 8月18日 | お楽しみの日「夏まつり i n つつじ寮2024」 |
| 9月13日 | お楽しみの日「還暦を祝う会」 |
| 9月22日 | ふれあい旅行「ぶどう狩り」 |
| 10月18日 | お楽しみの日「運動会」 |
| 11月11日 | 地域交流くすの木福祉まつり |
| 11月15日 | お楽しみの日「焼き芋を食べよう」 |
| 12月20日 | お楽しみの日「クリスマス会」 |
| 12月20日 | 蒲郡市長・蒲郡市議会議長・社会福祉協議会会長による年末訪問 |
| 2月3日 | お楽しみの日「節分」 |
| 3月28日 | お楽しみの日「餅つき大会」 |

7. その他

（1）レクリエーション

グループごとに随時実施した。外食を兼ねた買い物、長距離ドライブ、映画、水族館、道の駅散策、野球観戦などを実施した。

（2）防災訓練

毎月1回実施。日中のみならず、職員の少ない夜間を想定し、非常時の対応ができる様に訓練した。10月に法人災害対策本部設置訓練、福祉避難所設置訓練を蒲郡市と共同で行った。

（3）環境整備

毎月1回実施し、寮内整備及び美化に努めた。

（4）地域活動

ふるさと博推進委員会の学習資源整備、トイレ清掃管理に取り組んだ。

（5）理髪

偶数月に実施した。

(6)保護者会

保護者会は4月、5月、6月、7月、9月、10月、12月、2月、3月実施した。

(7)ボランティア

繕い物作業や創作活動の指導等に、温かいご支援、ご協力を頂いた。

(8)苦情解決事業及び虐待防止

- ・社会福祉法の規定に基づき、福祉サービスに関する苦情相談及び虐待防止等について啓発すると共に、利用者一人ひとりの面談に努めた。(令和6年度件数 0件)
- ・虐待防止については、講師を招き研修を行った。また月1回虐待防止・身体拘束適正化委員会を開催した。(令和6年度通報件数 1件)

(9)福祉サービス第三者評価

令和2年度12月受審

(10)生活介護(通所)

令和6年度利用実績 延べ 12名 54日

(11)短期入所(宿泊を伴うショートステイ)事業

令和6年度利用実績 延べ 103名 367日

(12)日中一時支援(日帰りショートステイ)事業

令和6年度利用実績 延べ 100名 498日

令和6年度 サポートくすの木 事業報告

1. 職員構成 (R 6. 3. 31)

職 種	員数	常勤	非常勤	常 勤 換 算	備 考	保 有 資 格
			専従			
管 理 者	1	1		—		公認心理師、准看護師、社会福祉士、介護福祉士、社会福祉主事、強度行動障害支援者養成基礎研修修了
サービス管理責任者	1	1		—		社会福祉主事、サービス管理責任者研修修了、強度行動障害支援者養成実践研修修了
生活支援員	18	7	11	14.8		社会福祉士、介護福祉士、社会福祉主事、強度行動障害支援者養成基礎・実践研修修了
看 護 師	1		1	0.7	兼務	准看護師
医 師	(1)		(1)		嘱 託	・医師
事 務 員	1	1				
調 理 員					外部委託	

2. 利用者の状況

(1)障害支援区分状況 (R 6. 3. 31現在)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男 性	0	0	4	12	18	4	38
女 性	0	0	1	8	3	2	14

(2)月別 利用契約状況 (R 6年度3月初べ)

市町村 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
蒲 郡 市	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	28	28
豊 川 市	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
豊 橋 市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	52	52

(3)月別 利用者数状況 (定員55名)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者数・率												
利用者数	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	52	52
利用率 (%) (対 利用者数)	89.7	89.9	88.9	89.7	88.0	90.9	90.3	88.8	80.8	85.4	85.8	85.6
一日あたり 平均利用人数	49.3	49.4	48.91	49.35	48.4	50.0	49.7	48.9	44.4	47.0	47.2	47.1

3. 全体を通して

今年度の利用実績は、一日平均 48.3 人、対定員数の利用率 87.8%

令和 6 年度は、12 月にコロナ感染症のクラスター事案が発生したが、それ以外においては、事故や怪我・トラブルはなく、生産活動や行事等、当初の計画通り事業展開が出来た。

生産活動においては、第 1 課（委託作業）は前年度より受注量は上向きで、手が空いてしまう状況は減少した。第 2 課（木工・お菓子）は、固定された販売先だけではなく、個別注文や各種販売会に積極的に出向き、収入 UP を図った。課題としては、食材や木材等の材料費の高騰が続いており、今後、物価動向に応じた価格や規格の見直しは必要と思われる。全体の収入としては、2 年連続で右肩上がりではあるが、令和元年（コロナウイルス感染症前）の回復までには至っていない。

4. 生産活動

委託部門においては、売り上げは昨年度と比べ約 1.3 倍の増加であった。A 社については 1 年を通して作業量は増加しており、特に 8 月の繁忙期は他部署の力を借りることもあった。M 社においては、昨年度と同等の作業量であり、複雑な工程がないため、多くの利用者が携われた。H 社においては、上半期は昨年度より始まった作業の材料の入荷が多く、多忙な時期もあったが、徐々に作業量は落ち着いた。K 社においては、毎日決まった配線の納品数であり、安定した作業を提供出来た。

また、運動に対するニーズについては、元氣班の協力を得て運動を実施している。

木工部門においては、バザーやイベントでの販売は増え、個別のオーダー品も増えた。製品の製作段階における利用者の作業に関して、特に新しい技術の工程はないが、高齢化や体力、集中力が落ちてきているため、繰り返しの作業で精度を保てる工夫や職員の検品体制の強化を図った。

日中活動では気分転換も大事な要素であり、体力維持も踏まえ引き続き器具運動や歩行運動にも取り組んだ。

菓子部門においては、イベントや行事に積極的に参加することで、かふりえ製品を知ってもらえる機会を増した。今年度は特に個人的な注文が多く、「イベントでお菓子を買っておいしかったからまた注文したい」と嬉しい声もあった。地域公益事業の取り組みとしては、地域の児童クラブへのおやつを提供を継続している。

販売先で「ありがとうございました」と笑顔で接客する利用者の姿に、やる気・成長を感じている。

5. 生活介護活動（元氣班）

利用者の高齢化により、高齢者介護について考える 1 年であった。

作業面においては、委託・木工作業課から作業の提供を受け、個別支援計画に基づき、利用者への提供を継続した。また、機能訓練具（ペグ）やパズル等の提供を必要に応じて行い、気分転換も出来るようにした。

運動面においては、タイムスケジュール化をして器具を用いた運動や食堂歩行を提供した。利用者の運動に対するニーズ、健康の維持・増進、ストレスの緩和を含めた、生活介護事業所としての身体面・精神面における受け皿の役割を担った。

6. 生活・余暇支援

今年度も感染症対策には留意し、日帰り親子旅行や法人行事、事業所内における選択レクリエーション、クリスマス会、節分行事等、問題なく全てが予定通り実施された。

7. 保健状況

月	実 施 内 容
4	嘱託医医療相談 17名 救急用品・常備薬の整備
5	健康診断 利用者 (胸部 X—P・採血・検尿・聴打診・血圧測定・腹囲測定) 職員 (胸部 X—P・採血・検尿・聴打診・血圧測定・腹囲測定・体重・身長 聴力視力・心電図) 嘱託医医療相談 19名
6	嘱託医医療相談 18名
7	嘱託医医療相談 18名
8	嘱託医医療相談 18名 救急法講習会 (CPR/AED、気道異物除去法、) 職員7名
9	嘱託医医療相談 18名
10	嘱託医医療相談 18名 健康診断：利用者 (聴打診、検尿、血圧測定、体重、身長)
11	インフルエンザ予防接種(利用者：45名 職員：11名)
12	嘱託医医療相談 17名 救急法講習会 (CPR/AED、気道異物除去法) 職員6名
1	嘱託医医療相談 17名
2	嘱託医医療相談 15名
3	嘱託医医療相談 15名

8. 環境整備

毎月1回実施

日常の掃除では行き届かない部分や掃除しきれない部分を中心に実施し、施設内の美化に努めた。

9. 日中一時支援

令和6年度利用実績 契約者数 0名

10. 苦情解決

社会福祉法第82条の規定及び局長通知「社会福祉事業の経営者による福祉サービスに関する苦情解決の仕組みの指針について」により、福祉サービスに関する苦情解決事業を実施した。(令和6年度件数 0件)

1 1. 虐待防止

虐待防止・身体拘束適正化研修については、法人内研修等で全員が参加している。また、各個人が3カ月に1回の自己点検表を提出し、それぞれが日々の支援の振り返りをする事で、意識の維持・向上を図っている。点検表は集計を取り、虐待防止・身体拘束適正化委員会（メンバー：役職者・各課1～2名 開催：3か月1回）で内容を検討後、虐待防止・身体拘束適正化会議（年4回）で報告し結果を全職員に配布している。
(令和6年度通報件数 0件)

1 2. 職員研修

- ・職員の資質及び専門性の向上、意識改革を図るため、下記の研修会（オンライン研修）や法人内研修に参加した。
- ・障害者虐待防止身体拘束化研修・権利擁護セミナー ・管理者研修
- ・苦情解決制度受付担当者研修 ・強度行動障害支援者養成者(基礎研修)
- ・感染症対策研修・リスクマネジメント研修・初任者研修・リーダー研修、
- ・面接技法研修・知的障害者高齢者研修・防災研修・サビ管研修
- ・療育研修会（インシデントプロセス法）・メンタルヘルス研修 ・防犯研修
- ・法人研修～虐待防止・身体拘束適正化研修（ABC分析、アンガーマネジメント&アンコンシャスバイアス他）、AED講習（口腔内異物除去、感染症対策）、障害児者療育支援事業研修 、
- ・パート職員研修（障害基礎講座、自閉症基礎講座&強度行動障害の理解と支援、虐待防止・身体拘束適正化）・強度行動障害支援者養成者(基礎研修)

1 3. 防災訓練

令和6年度実施回数 6回

実施内容 地震及び火災による護身・避難並びに通報訓練 津波警報による避難訓練、消火器訓練等。

法人での合同防災訓練については、広域の大規模災害（地震）発生を想定しての姉妹施設間の伝達訓練、福祉避難所立ち上げ訓練に参加している。

1 4. 行事実績

別紙1の通り

1 5. 生産活動実績

別紙2の通り

(別紙 1) 令和 6 年度 行事实施報告

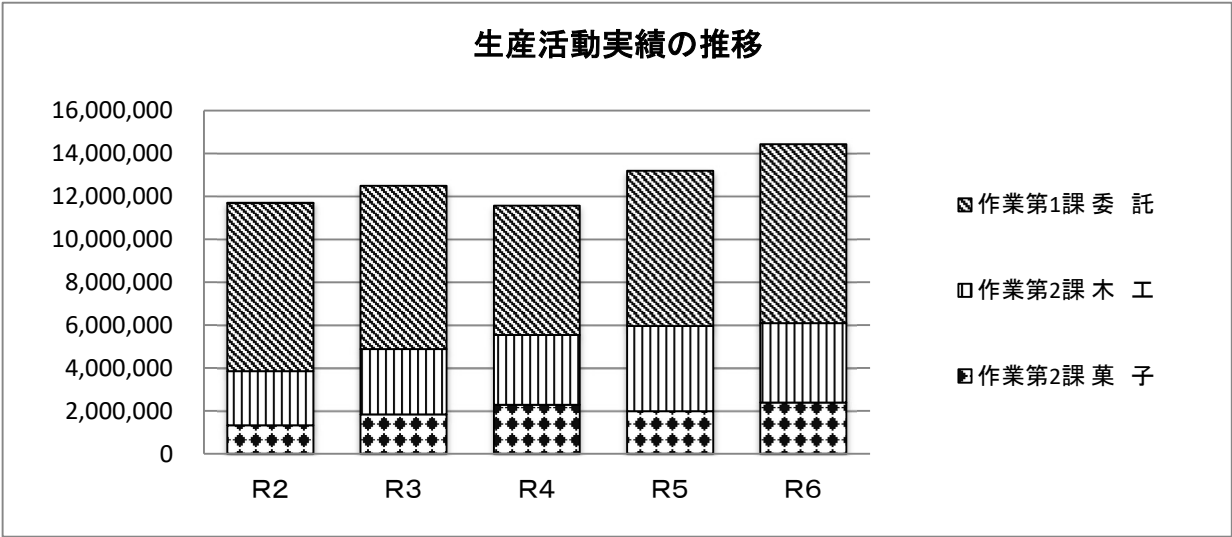
月	日	内 容
4	1	花見（かふりえ 5 名・蒲郡 とよおか湖公園）
	5	花見（木工 10 名・豊川 砥鹿神社）
	13	花見（委託課 20 名・蒲郡 ドライブ）
	15	花見（委託課 8 名・豊川 東三河ふるさと公園）
5	20	定期健診（利用者・職員）
6	3	選択レク（委託課① 13 名 浜松 うなぎパイ工場/イオン志都呂）
	13	選択レク（委託課② 8 名 岡崎 カラオケ:まねきねこ+買い物:イオンモール岡崎）
	13	法人合同防災訓練
	28	賞与支給日
	28	選択レク（木工課 9 名 豊田 防災学習館/買い物）
7	4	選択レク（委託課 名・イオンモール豊川・ラグーナ蒲郡）
	12	選択レク（かふりえ 5 名 買い物:イオンモール豊川等）
8	3	サポートくすの木夏まつり
	13	利用者夏期休暇（～15 日）
9	27	日帰り親子旅行（利用者 24 名 保護者 23 名 伊勢神宮）
10	4	日帰り旅行（名古屋港水族館 14 名）
	11	法人合同防災訓練
	15	定期健診（利用者）
	18	日帰り旅行（名古屋港水族館 8 名）
11	9	第 31 回地域交流くすの木福祉まつり
	12	インフルエンザ予防接種（利用者 44 名）
12	13	賞与支給日
	19	クリスマス慰問（イオン蒲郡店）
	21	クリスマス会
	29	利用者冬期休暇（～1/3）
2	3	節分・豆まき
3	4	福祉の店（イオン豊橋南:木工課、かふりえ）
	8	保護者・利用者・職員懇親会 蒲郡クラシックホテル
	28	賞与支給日
		工賃支給 嘱託医来診（医療相談） 環境整備 防災訓練（5 月・6 月・9 月・10 月・12 月・R7. 2 月） 自主点検（危険物・消防用設備） 東海理化販売（第 4 火曜日）・蒲郡大塚児童館販売（第 3 木曜日） 豊川市役所販売（第 2 週目水曜日）・蒲郡市役所販売（常設） ＊地域公益活動 ・毎月 1 回開催年 9 回参加:地域支え合う座談会 ・隔月年 6 回:地域公益取組み （焼き菓子おやつ提供:大塚児童館児童クラブ・大塚小学校児童クラブ）

(1) 年間課別実績

月	作業第1課	作業第2課		その他	計	経 費	純利益	工 賃
	委 託	木 工	菓 子					
4	0	122,300	133,410		255,710	111,743	143,967	530,104
5	597,016	294,280	273,100		1,164,396	382,357	782,039	530,108
6	662,669	330,100	224,100		1,216,869	315,639	901,230	1,062,109
7	687,488	306,470	62,877		1,056,835	437,681	619,154	530,129
8	887,216	256,900	133,380		1,277,496	453,173	824,323	530,909
9	703,408	365,450	164,160		1,233,018	220,369	1,012,649	530,701
10	690,350	360,470	167,940		1,218,760	436,687	782,073	530,054
11	748,098	430,720	202,830		1,381,648	526,238	855,410	530,167
12	734,072	445,450	252,420		1,431,942	234,569	1,197,373	1,325,672
1	659,071	295,760	274,770		1,229,601	334,621	894,980	530,137
2	657,131	60,300	117,990		835,421	421,999	413,422	530,050
3	673,685	0	36,220		709,905	271,745	438,160	796,699
決算見込	638,013	426,630	344,790		1,409,433	741,724	667,709	1,582,620
合 計	8,338,217	3,694,830	2,387,987	0	14,421,034	4,888,545	9,532,489	9,539,459
月平均	694,851	307,903	198,999	0	1,201,753	407,379	794,374	794,955

(2) 年度別実績

(年度)	作業第1課	作業第2課		その他	計	工賃総額	工賃平均 (一人/年)	工賃平均 (一人/月)
	委 託	木 工	菓 子					
R2	7,821,184	2,530,804	1,324,135	0	11,676,123	10,005,965	196,195	16,350
R3	7,612,487	3,050,323	1,828,389	0	12,491,199	9,449,522	185,285	15,440
R4	6,029,925	3,260,352	2,275,636	0	11,565,913	9,149,445	179,401	14,950
R5	7,233,356	3,965,610	1,990,129	0	13,189,095	9,010,387	176,674	14,723
R6	8,338,217	3,694,830	2,387,987	0	14,421,034	9,539,459	180,629	15,052



令和6年度 わくわくワーク大塚 事業報告

1. 職員構成

総数 23名

(内非常勤)

施設長 1	サービス管理責任者 1	生活支援員 15 (9) (1名看護師兼務)	事務員 1
看護師 1 (1) (生活支援員兼務)	調理員 2 (2)	運転手 1 (1) 添乗員 1 (1)	嘱託医 1 (1)

2. 利用者の状況

(1) 月別利用契約者状況

月 市町村	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
蒲郡市	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44	44
安城市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
設楽町	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46	46

(2) 各種関係手帳所持状況

() は重複者

種別 性別	療育手帳				身体障害者手帳						計
	A級	B級	C級	なし	1級	2級	3級	4級	5級	6級	
男	23	3	0	0				(2)			26
女	12	7	0	1	(1)		1(2)				20
計	35	10	0	1	(1)		1(2)	(1)			46

(3) 障害支援区分

項目 性別	6	5	4	3	2	計
男	3	1 3	8	2	0	2 6
女	4	9	4	3	0	2 0
計	7	2 2	1 2	5	0	4 6

(4) 日常生活自立状況

領域 状況	自立		一部介助		全介助		計
	男	女	男	女	男	女	
食 事	6	5	1 9	1 3	1	2	4 6
歯磨き・洗面	1	3	1 6	1 2	9	5	4 6
排 泄	1 0	4	1 4	1 4	2	2	4 6
着 脱 衣	5	3	2 0	1 5	1	2	4 6
掃除 (担当箇所)	1	1	1 3	1 4	1 2	5	4 6

(5) 月別利用者数状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
定 員	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
月平均 利用者数	42.5	41.3	42.2	41.6	39.4	40.8	42.9	42.1	36.3	41.5	40.9	39.7

平均月利用者数：40.9

3. 日中活動支援

(1) 自主製品科作業実績

①はじめに

今年度は、利用者17名、職員6名（内非常勤職員4名）という体制で引き続きスタートし9月より職員1名が加わっている。作業内容は、菌床しいたけ栽培、委託作業、縫製作業を継続している。

それぞれの部門でより一層の作業の充実を目指して取り組んだ。また利用者一人一人の作業能力、個々に適応した作業を考え、委託作業科と協調して、一人一人に合った作業を提供するように心掛けた。

W作業は昨年度より売り上げは伸びたが、縫製作業は規模を縮小したことにより売り上げが低迷した。またしいたけ栽培についても収穫量の減少により売り上げが昨年度を下回った。

②縫製部門

本年度より規模を縮小しスツール、三河木綿ブローチを中心に利用者が携われる商品のみに作成した。そのため、売り上げは大幅に減少した1年であった。

実績において、昨年度を下回る売り上げとなったが、バザーが開催されるようになり、バザーの売上は伸びている。またスツールについては昨年度より減少はしているが、3日に1個以上は売れていた状況である。

各常設店販売別では、福祉課での販売が44%、テーマパーク内の販売先Vが19%、竹島園地内の販売先Tが2%、個人販売が10%、バザー他が25%となった。

③委託作業

今年度は(株)Wより小学校教材のフェルト裁断作業を請け負い13年目、フェルト(小)の裁断作業を行ってきた。

実績についてはフェルト(小)を22万枚発注していただき、昨年度より売り上げが伸びている。

その他の作業として委託作業科で受注している自動車部品の組付けや建築部材の作業等の仕事を協力して利用者に提供することで、より多くの利用者の皆さんに作業を提供することができた。

④菌床しいたけ栽培

しいたけ班としては利用者7名、職員3名を配置し、作業に取り組んだ。菌床しいたけの栽培は16年目を迎え、令和6年度も菌床4000床を購入し、しいたけの搬入後は、毎日の温度、湿度管理を欠かさずに作業として取り組んだ。

販売経路は、これまでの蒲郡市内のJA、豊川市内のスーパーK、蒲郡のテーマパーク内の販売先V、生活協同組合を中心に販売することができ、乾燥しいたけについても併せて販売を続けた。昨年度同様に保育園、児童館、シルバー人材センター、市内の福祉施設等での販売を積極的に行った。

東三河地域のバザーがあれば出向き、販売させていただいた。しいたけの品質といった点でも、「品質の良いしいたけ」「肉厚で美味しい」と好評をいただくことができた。乾燥しいたけは、昨年に引き続き、パッケージを愛知工科大学の学生にデザインして頂いた物を使用し好評をいただくことができた。

菌床搬入後から温度、湿度管理は毎日行った。菌床については、昨年度同様に三重県から仕入れた。品種も同様で、引き続き搬入回数を2回に減らすことで労力の軽減と経費削減を図っている。今年度は収穫量100kgを超える集中発生が1度あり、しいたけを市場に出荷している。廃棄することはなかった。雑菌混入を避けるため5月GW明けに菌床搬入をした。今年もしいたけ農家の助言を活かし換気や散水などで温室・菌床の温度調整をした。高温障害に陥ることはほぼなかった。10月に入ると順調に発生が始まったと思われる。

たが、11月下旬以降、しいたけの芽が出なくなってしまった。11月下旬以降、3月過ぎまで収穫できたが総収穫量としては約2,600kgと昨年度より約1200kg減り、実績も80万円程減った。

（２）委託作業科実績

①はじめに

委託作業科の体制になり13年目を迎え、利用者29名、職員9名（内非常勤職員5名）という体制で企業の下請け作業を中心に取り組んだ。作業内容は、委託作業全般・製パン・製菓作業ということで、委託作業は6社の業者から作業を受注し行っている。それぞれの業者からの作業の受注状況と利用者の作業能力に応じて、一人一人に合った作業を提供するように心掛けた。

②委託作業

6社の業者から自動車関連組み付け作業、部品のセット、プラスチック部品の組み付け作業、建築用部品の作成作業、ダンボールの緩衝材の組み立て、バーナー部品の加工等を行った。今年度も安定して業者から作業を頂くことが出来たため、作業種の確保をすることが出来た。作業内容も簡単なものから高度なものまで様々あり、より多くの利用者の皆さんに作業を提供することもできた。

昨年度は大塚でも内職の単価が上がった仕事もあったが、令和5年度と同程度の実績となっている。作業量は減少傾向なため今後も新しい作業を獲得していくことが大事である。そのため作業の質の向上などより良い製品を作れるように努めていく。

③製菓部門

令和6年度は、販売員を含めた利用者7名、職員2名で作業に取り組んだ。法人内給食を安定して提供できた事に加え、児童館やバザーでの販売、地域公益事業としておおつか児童クラブのみなさんへおやつを提供ができた事も、実績を上げるうえで大きな要因となった。

また、今年度は新たに豊川市の企業様において、月に1回販売をさせて頂く事が出来た。新しい場所での販売は、利用者・職員ともに新鮮であり作業をする上で、大きな励みになっている。今後も地域との繋がりを大切にし、より多くの人にわくわくワーク大塚のパンを味わってもらいたい。

一方、保護者会開催の減少や、蒲郡アピタ改装によるバザーの中止によって収益が減少したことは残念である。

物価の高騰が続いている事も、製パン・製菓作業においては懸念材料のひとつである。

4. 日常生活支援・健康管理支援

(1) 日常生活支援

《手洗い》

基本的な手洗い支援として、引き続き休憩時や昼食の手洗い時には職員がついて支援をしている。毎日の繰り返しが定着につながっている。

感染予防の観点からも引き続き支援をしていきたい。

《歯磨き・洗面》

昼食後には利用者自らが食堂洗面台で歯磨きを行い、その後当番職員が上手に磨くことが出来ない箇所を磨き直し、口の周りの清潔の保持に努めた。

歯科医による歯科健診を1回実施した。常に歯科通院をしていない利用者にとっては、口腔内の状態を確認する良い機会になった。

今後は、引き続き歯磨き支援を行い、それが家庭でもできるように家庭と協力していきたい。

《体力作り》

午前・午後の時間を使って体力活動を行った。

介護棟内では、利用者や保護者の要望・目標を取り入れ、それぞれに合った器具を使い支援した。ルームランナーや、フィットネスバイク等は速度や傾斜、時間等を変え、それぞれの体力に合わせた形で行った。ゴムボールを使用した体幹機能訓練も行った。

足温器やイージーウォーク（足首屈伸器具）、エルダックス（上半身運動器具）や肩マッサージ器は、主に筋力維持や血行促進を目的に高齢者や重度者などに行った。

屋外活動として、好天の日には散歩にも出掛けている。短距離（約1km）、中距離（約2km）、長距離（約3km）のコースを設け、それぞれの体力に合ったコースで参加してもらい、帰所後も腹筋やレッグマシーンに取り組み、体力活動に対する意欲がうかがわれた。

猛暑日（雨天時）の際には散歩は中止し、介護棟の中で楽しく身体を動かすリズム体操を行った。

今後もわくわくワーク大塚でできる範囲内で、体力維持等につながるような活動をしていきたいと思っている。

(2) 健康管理支援

定期健診、年2回実施

身体測定、年3回実施

歯科検診、年1回実施

健康チェック、毎朝、検温実施

給食、健康維持及び生活習慣病防止の献立作成

嗜好調査を随時実施

5. 環境整備・余暇活動

(1) 環境整備

環境整備活動、毎月実施

清掃奉仕、年1回実施、10月

衛生対策、玄関、食堂、トイレに消毒液設置

(2) 余暇活動

土曜タイム、自治会活動、科別リフレッシュタイムの実施

6. 日中一時支援事業(別紙1)

7. 苦情解決・虐待防止・身体拘束適正化

(1) 苦情解決

苦情としての受付はなかった。

意見要望等が言いやすい環境作りに努め、速やかに対応できるよう職員会議等で職員に周知した。

(2) 虐待防止・身体拘束適正化

虐待事案の受付はなかった。

毎月、サービス提供点検を実施し職員会議で検討すると共に、虐待防止の関係する研修に参加し虐待防止に努めた。

身体拘束については、安易に「緊急やむを得ない」ものとして身体拘束をおこなうことのないように努めた。

8. 地域における公益的な取組

社会福祉法第24条2項に基づく地域社会における公益的な活動を推進することで社会福祉法人の役割を明確にし、地域の福祉ニーズに応えるため、地域支え合い座談会の参加や地元児童クラブへのお菓子提供等の活動を通し、地域に根ざした信頼される施設づくりに努める。

9. 令和6年度 行事实績(別紙1)

10. 令和6年度 作業実績(別紙2)

(別紙 1)

日 中 一 時 支 援 事 業 報 告

1. はじめに

18年10月からスタートした市町村地域生活支援事業の日中一時支援事業〔蒲郡市・豊川市〕は17年目を迎えた。

2. 利用状況

契約人数：0名 延べ利用人数：0名 日中一時支援の利用はなかった。

3. 今後について

今後も地域で生活している障がい者のニーズがあれば、日中活動の場として、作業や体力活動等を通した様々な支援を行っていきたい。

令和6年度行事实績

5／13	春の定期健診
6／20	歯科健診
21	選択レク（竹島水族館）
28	利用者賞与支給
8／3	ミニ縁日（盆踊り・スイカ割り）
8／10	ミニ縁日（千本引き・かき氷）
13	利用者夏期休暇（～15）
9／27	日帰り旅行（名古屋城・名古屋港水族館）
10／7	秋の定期健診
11／9	地域交流福祉まつり
12／13	利用者賞与支給
19	クリスマス慰問（イオン蒲郡店）
20	忘年会（テイクアウト・カラオケ・ビンゴ大会）
23	蒲郡市（市長、市議会議長、社会福祉協議会長）年末訪問
28	餅つき・仕事納め
29	利用者冬期休暇（～1／3）
1／6	初詣
2／3	節分・豆まき
7	科別レク（蒲郡オレンジパーク）
3／28	花見（蒲郡中央公園・東三河ふるさと公園他）
28	利用者賞与支給

※ 毎月 1 回・・・工賃支給、誕生会、環境整備デー
 血圧測定（毎日）

※ 偶数月 防災訓練

※ 4ヶ月毎・・・身体測定

(別紙2)

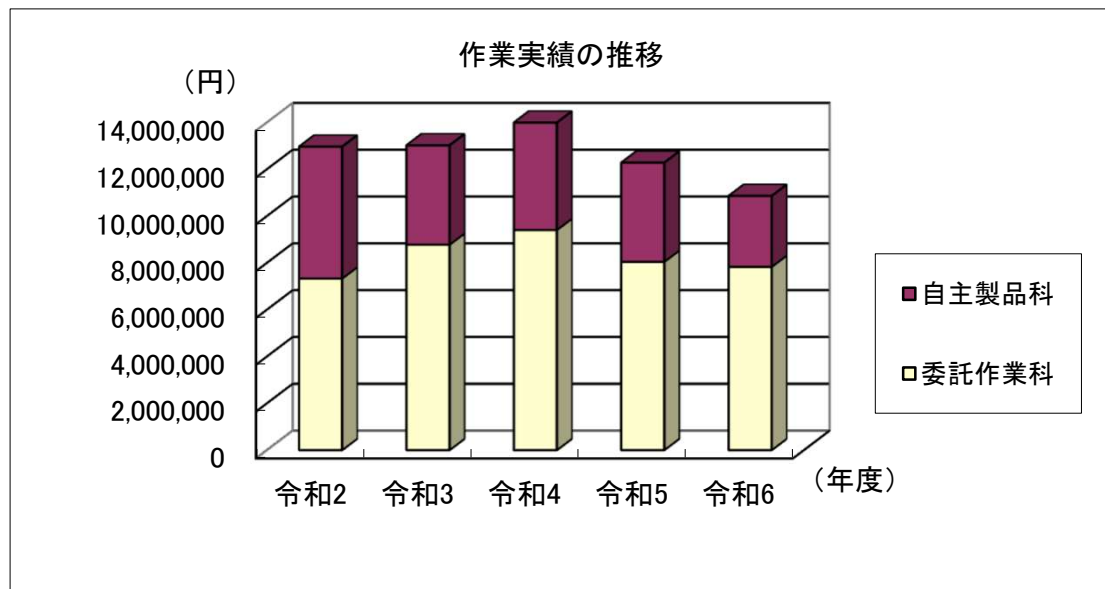
令和6年度作業実績

1. 実 績

(単位:円)

	自主製品科	委託作業科	計	経費	工賃
4	46,760	142,819	189,579	337,228	303,270
5	22,300	349,885	372,185	187,139	303,360
6	26,600	827,886	854,486	1,626,599	600,260
7	76,450	601,930	678,380	308,718	303,390
8	105,400	693,798	799,198	382,907	303,240
9	44,060	501,948	546,008	287,609	301,350
10	216,590	652,581	869,171	252,058	301,530
11	546,080	867,114	1,413,194	366,006	303,360
12	933,771	678,965	1,612,736	418,641	757,370
1	603,090	691,946	1,295,036	556,313	300,480
2	211,792	667,271	879,063	311,787	303,000
3	109,980	502,847	612,827	639,954	454,370
決算見込	85,520	649,862	735,382	667,643	0
合計	3,028,393	7,828,852	10,857,245	6,342,602	4,534,980
月平均	252,366	652,404	904,770	528,550	377,915

2. 作業実績の推移



◎ 年度別実績

(単位:円)

	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
自主製品科	5,633,791	4,247,212	4,586,917	4,235,925	3,028,393
委託作業科	7,328,708	8,773,131	9,403,520	8,043,514	7,828,852
合 計	12,962,499	13,020,343	13,990,437	12,279,439	10,857,245

令和 6 年度 社会福祉法人くすの木福祉事業会 共同生活援助事業所
(ひめはる・かるみあ・はちまん) 事業報告

1. 概要

令和 6 年度の入居者の状況は、利用定員は 50 名に対し、利用者数は 49 名であった。「かるみあ」から利用者 1 名が「あざれあ」への移動希望が出たため、相談しながら意思決定や円滑に移行できるよう何度か体験を繰り返し支援している。令和 7 年度からは正式に「あざれあ」での利用が決まっている。また、利用者が穏やかに生活を送れることを最優先に希望や相性などを考慮して来年度、「はちまん」から 1 名、「かるみあ」への移動が予定されている。令和 7 年度からは「はちまん」が 1 名欠員状態になると思われる。利用状況としては、2 名の方が病気や精神的な不安定さから入院され、長期にわたり利用できない時期があった。

職員体制については、令和 6 年 7 月に正規で事務員を採用している。現場の夜間支援体制については、夜勤者のいない「あざれあ」への配置や、「ひめはる」でも夜勤者の増員をする努力はしたものの、世話人の確保ができず実現できていない。慢性的な人手不足から夜間支援体制だけでなく、日中の人員増員も含め各ホームで必要となっていることから、引き続き、人材確保が重要な課題である。

感染症予防対策としては、定時検温・手洗い・消毒・うがい等を実施し感染予防に努めたが、12 月には新型コロナウイルスの感染者が発生し 29 名の罹患している。そのうち 17 名の方はホームで支援し、2 週間ほどで収束している。

行事としては、11 月に外出による食事会(忘年会)、12 月はクリスマス会、2 月には昨年続き日帰り旅行を実施することができた。利用者同士、保護者同士、交流をもつ機会にもなり旅行を楽しんでいる様子が窺えた。その他の取り組みとして、「あざれあ」では利用者主体で休日の昼食作りを継続している。他のホームでも外出支援として、買い物や外食などを経験することで週末の外出を期待する姿が見られるようになった。また、個別支援として本人の希望に応じて、京都旅行や温泉旅行なども同行し、余暇支援充実を図っている。

2. 入居者の状況(R7.3.31 現在)

事業所名	ホーム名 (住居名)	開設年度	住 所	定員	男性	女性	備考
ひめはる	ひめはる	H23	大塚町後広畑 25 番地 4	10	10	0	
	あざれあ	H19	大塚町野添 105 番地 1	5	0	4	
	ふれんず	H30	大塚町後広畑 25 番地 10	5	5	0	
かるみあ	さつき荘	H 8	大塚町上中島 32 番地 2	5	5	0	
	かるみあ (2 ユニット)	H25	大塚町後広畑 25 番地 4	5	0	5	かるみあⅠ
				5	5	0	かるみあⅡ
	あいりす	H30	御津町御馬野添 149 番地	5	0	5	
はちまん	はちまん (2 ユニット)	H31	大塚町八幡 1 番地 1	5	0	5	はちまんⅠ
				5	5	0	はちまんⅡ
			総 数	50	30	19	

令和6年度 障害者サポートセンターすてっぷ事業報告

1. 概要

令和5年度に引き続き、令和6年度も計画の更新が多く、大変忙しい1年であった。

令和6年度も蒲郡市自立支援協議会の事例検討部会の運営に携わった。その他に相談支援従事者現任研修の演習講師を担ったり、基幹相談支援センター会議で実施するグループスーパービジョンの進行役を行ったりと相談支援本体の以外の業務を期待されることが増えている。

令和6年度に報酬改定があり、報酬的には大きく伸びたが、報酬改定の中でも計画やモニタリングの作成以外の業務、特に地域の相談支援体制の強化に関わることが求められており、今後その様な期待は増加していくと思われる。

引き続き、令和5年度も蒲郡市委託相談支援事業の業務も行った。

2. 相談支援の状況

【相談受付数】

	実人員	身体障害	知的障害	精神障害	発達障害	その他
人数	130	6	110	4	10	0

【支援方法】

	訪問	来所	同行	電話等	個別支援会議	その他	合計
相談数	386	22	22	327	39	489	1333

【支援内容】

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康医療	不安解消 情緒安定	保育教育	家庭関係 人間関係	家計 経済
件数	705	0	475	158	101	268	62

	生活技術	就労	社会参加 余暇活動	権利擁護	その他	合計
件数	262	68	267	5	89	2460

【サービス等利用計画およびモニタリング報告書作成数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
計画数	8	3	10	6	5	6	7	10	64
モニタリング数	13	24	21	11	21	9	15	19	22

	1月	2月	3月	合計
計画数	4	6	2	73
モニタリング数	16	19	15	205